

持続可能な都市を構築するための都市交通や市街地整備に関する問題意識(案)

1 都市構造改革を実現するための都市交通施策や都市整備の方向性

都市交通施策や市街地整備の目標の転換

都市交通施策等は、これまでの需要追随型・トレンド型ではなく、各都市圏が目標とする都市像への改変を誘導するものとすべきではないか

役割分担の明確化

必要な都市交通施策は、自治体が主体的な役割を担って推進すべきではないか

市街地整備は、民間の主体的な動きをより促進すべきではないか。その際、自治体はどのような役割を果たすべきか

国の支援は、国の施策に合致する施策の実施に重点化すべきではないか

2 都市構造改革を実現するための都市交通施策の主要な取組テーマ

幹線道路整備の重点化の方向性

環状道路等の骨格的な道路の未整備区間を抽出し、早期に完成するよう整備を重点化することが必要ではないか

拡幅、新設による交通容量の増大に加え、踏切対策、交差点改良等の渋滞ポイントを早期に解消するための施策に絞って集約的に投資し、早期に進めることが必要ではないか

公共交通への新たな取組

道路空間の公共交通の導入空間としての積極的な活用、公共交通の導入に対する支援の一層の拡大等が必要ではないか

「都市の装置」としての視点から、地方公共団体(特に市町村)が中心となって、関係者による協議・調整等を行い、最適な都市交通システムを構築することが必要ではないか

道路空間の使われ方の見直し

道路空間の使われ方を点検し、骨格道路以外は、自動車のための空間から、歩行者、緑、公共交通等のための空間として再構築することが必要ではないか

3 都市構造改革を実現するための市街地整備の進め方

市街地整備の方向性

望ましい都市構造への改革を誘導する上で、拠点的市街地の整備には、どのような取組が必要か

急速な都市化に十分な整備が行われないまま形成された既成市街地において、市街地環境の更なる悪化が懸念される中、どのような取組が必要か

現下の経済社会状況の中で、既成市街地整備における官民の役割をどのように考えるべきか

民間による主体的な取組への支援方策

民間の主体的な取組を促すための行政による支援は、どのように進めるべきか